

令和3年度(2021年度)行政評価シート【個表】

令和3年7月15日

評価対象事業		評価者	選挙管理委員会事務局長 渡邊 好二	
選挙-01	選挙啓発事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	選挙管理委員会事務局
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市民
意図	有権者の政治意識の高揚を図るとともに、棄権防止、選挙違反の根絶を呼びかけるため。
効果	適正に選挙を執行する。

2 令和2年度(2020年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年実施している「出前授業・模擬選挙」は新型コロナウイルスの影響を受け実施を見合わせた。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響を受け、事業縮小した「鎌倉市明るい選挙推進協議会」の活動支援を行った。</li> </ul>
---

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和2年度		令和3年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	選挙啓発事務	鎌倉市明るい選挙推進協議会補助金	-	- / -	-	-	
				67 / 274	274	155	
02				/			
				/			
03				/			
				/			
04				/			
				/			
05				/			
				/			
06				/			
				/			
07				/			
				/			
08				/			
				/			
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	67 / 274	274	155	
			事業費の合計(千円)	67 / 274	274	155	
		人件費(千円)		6,060	1,548		

4 この事業に関わる職員数(4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.8	0.2				
会計年度任用職員	0.0	0.0				

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由 ➤今年度は指標設定の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	選挙啓発事務	模擬選挙の実施校数を指標としてきたが、学校の都合や選挙の有無が実施校数に大きく影響するため指標になじまない。	選挙は自治の根幹であり、市民のより一層の政治参加を図るために必要な事業である。	コロナ禍で実施が困難な模擬選挙に替わる事業の設計
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

**(2) 視点別評価**

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働		協働実施済の場合のパートナー	鎌倉市明るい選挙推進協議会

**(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する**

【今後の方針】     拡充     改善・変更     現状維持     縮小     休止・廃止  
 コロナ禍が収束すれば常時啓発として模擬選挙を実施する。  
 コロナ禍でも実施可能な啓発事業の検討を進める。

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--

令和3年度(2021年度)行政評価シート【個表】

令和3年 7月 15日

評価対象事業		評価者	選挙管理委員会事務局長 渡邊 好二	
選挙-02	選挙事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	選挙管理委員会事務局
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民
意図	公職選挙法及び関係法令の定めるところにより、選挙に関する事務やこれに関係のある事務を管理するため。
効果	適正に選挙を執行する。

2 令和2年度(2020年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙管理委員会の運営</li> <li>選挙人名簿の調整等</li> <li>庶務</li> </ul>
---

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和2年度		令和3年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	選挙管理委員会運営事務	選挙管理委員会委員報酬等	-	- / - 2,293 / 2,398	- 2,458	-	
02	選挙管理委員会事務局事務	消耗品費等	-	- / - 142 / 375	- 386	-	
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	42 / 100	100	100	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	2,393 / 2,673	2,744	2,744	
			事業費の合計(千円)	2,435 / 2,773	2,844	2,844	
		人件費(千円)		8,875	5,170		

4 この事業に関わる職員数(4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	0.5				
会計年度任用職員	1.0	1.0				

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由 ➤今年度は指標設定の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	選挙管理委員会運営事務	行政委員会の運営事業であり、年度ごとの変化は生じないため。	法定事務	なし
02	選挙管理委員会事務局事務	選挙人名簿・在外選挙人名簿の調製事務であり、年度ごとの変化は生じないため。	法定事務	なし
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

**(2) 視点別評価**

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働		協働実施済の場合のパートナー	

**(3) 総合評価** ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】  拡充  改善・変更  現状維持  縮小  休止・廃止  
法令に基づき、着実に事業を進める。

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方

令和3年度(2021年度)行政評価シート【個表】

令和3年 7月 15日

評価対象事業		評価者	選挙管理委員会事務局長 渡邊 好二	
選挙-03	市議会選挙執行事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	選挙管理委員会事務局
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民
意図	公職選挙法及び関係法令の定めるところにより、市議会議員選挙に関する事務を適正に管理するため。
効果	市議会議員選挙を適正かつ効率的に管理執行する。

2 令和2年度(2020年度)に実施した事業の概要

令和3年4月25日執行の鎌倉市議会議員選挙に係る準備事務を実施した。
------------------------------------

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和2年度		令和3年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	市議会議員選挙事務	投票管理システム更新業務委託等	-	- / -	-	-	
02				9,082 / 11,177	118,092		
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	9,082 / 11,177	118,092		
		事業費の合計(千円)		9,082 / 11,177	118,092		
		人件費(千円)			16,665 / 8,513		

4 この事業に関わる職員数(4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.2	1.1				
会計年度任用職員	0.0	0.0				

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由 ➤今年度は指標設定の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	市議会議員選挙事務	適当な指標がない(投票率は天候など外部要因に左右される)	法定事務(自治事務・法定受託事務)	時間外勤務の縮減に向け、業務(ポスター掲示場設置撤去・投開票所設営・撤去)のアウトソーシングを検討している。
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

**(2) 視点別評価**

効率性	事業費の削減余地はないか		2 事業費の削減が検討できる事業がある
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない 協働実施済の場合のパートナー

**(3) 総合評価** ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
軽費の縮減に努めており、引き続き合理的な事務執行を目指す。 働き方改革への対応を求められており、一部事務のアウトソーシングを検討し、職員の負担軽減を図る。					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--